

NPO日本医療ネットワーク協会が連合する地域医療連携のデータマッピング新開発 トライアル事業にオリオンヘルスのRhapsodyを採用

—地域医療情報センター間のデータ規格の違いを越えてシームレスなweb連携を実現、
システム構築をニイウスメディカルシステムが支援—

ニイウスメディカルシステム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嶺南 利昭、以下NMS）は、特定非営利活動法人 日本医療ネットワーク協会（事務局：東京都目黒区、理事長：吉原 博幸[京都大学教授]、以下日本医療ネットワーク協会）のデータマッピング新開発トライアル事業を、オリオンヘルス社の「Rhapsody Integration Engine」^{*1}（以下Rhapsody）にて実施したことを発表しました。Rhapsodyは、NMSが国内初の販売代理店^{*2}として取扱う医療機関向けデータ変換ツール製品で、NMSはRhapsodyを活用した、同事業のシステム構築支援を行いました。

日本医療ネットワーク協会^{*3}は、地域ごとの医療情報センターに分散記録されたカルテ情報を、患者が全国どこへ移動しても、必要に応じて患者自身のカルテ情報に安全にアクセスできる仕組みを構築し、運営していくことを目的として、2005年9月に設立された特定非営利活動法人(NPO)です。

今回Rhapsodyが採用された連合する地域医療連携のデータマッピング機能に関する新開発トライアル事業は、大規模運用に向けてのデータマッピング対象規格数の拡大、マッピング機能の高速化、汎用化等を目的としたものです。

NMSは、HL7 CDARel2とMML V3という異なる言語で記述された診療情報提供書間のデータマッピングを、Rhapsodyを使用することで成功させました。RhapsodyサーバはWebサービス^{*4}サーバとして機能し、soap形式で受信した診療情報提供書を異なる言語形式で返信することができます。診療情報提供書、紹介状、健診情報提供書、院外処方箋など地域連携医療で取り交わす医療文書は、電子カルテアプリケーションごとに異なった形式で記述されていますが、各病院間で電子的に文書交換を行う技術のご提供に目途がたったことから、諸外国にて一般的な地域連携医療に係る文書交換のソリューションを日本国内でもご提供することが可能となりました。NMSでは、この文書交換技術によって地域連携医療の発展や地域間での診療文書共有化の進展に大きく貢献できると考えております。

以上

*1 Rhapsody Integration Engineについて

あらゆるフォーマット・プラットフォーム上で、複数の医療用アプリケーション、データベース、システム間のメッセージ交換を調整および合理化する、医療機関向けの包括的な統合エンジンです。医療機関は、既存の情報システムとの連携を維持しながら、内外でシームレスな情報メッセージ・フローを作成することができます。

*2 詳細については、2006年8月9日の当社プレスリリースをご覧ください。

<http://www.niws-ms.co.jp/cgi-bin/press/press.cgi?mode=detail&num=230>

*3 詳細については、日本医療ネットワーク協会のHPをご覧ください。

<http://www.ehr.or.jp/activity/index.html>

*4 Webサービスとは

Web関連の技術を用い、ソフトウェアの機能をインターネット経由で利用できるようにしたサービス。

を追求しています。

詳しくは、<http://www.niwsco.co.jp/>をご覧ください。

戻る

▲ ページの先頭へ

[サービス情報](#) | [プレスリリース](#) | [リクルート情報](#) | [IR情報](#) | [会社情報](#) | [お問い合わせ](#)

Copyright © 2007 NIWS Medical System Co., Ltd. All Rights Reserved.